CSR 活動報告

基本理念

株式会社クリーンネットワークは、限りある資源の有効活用、産業廃棄物及び建設廃棄物の有効利用及び減量化推進に取り組むことにより、自然環境の保全、循環型社会の構築に貢献し、排出事業者、近隣者に安心と安全を提供することを基本理念としています。

地域等への貢献

株式会社クリーンネットワークは地域社会から信頼される事業者となるため、コンプライアンスを重視し、全てのステークホルダーの期待に応えるよう日々改善し続け、地域等への貢献を行います。

1.廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、悪臭防止法、下水道法、浄化槽法、騒音規制法、振動規制法、消防法、労働安全衛生法、道路運送車両法、自動車 Nox・PM 法、横浜市生活環境の保全等に関する条例、横浜市火災予防条例、横浜市緑の環境をつくり育てる条例、建設資材リサイクル法等の全ての法律、条例を把握し遵守します。

2.環境汚染を犯すことのないよう、汚染を余地予防し、目的目標と具体的手段を設定し、改善を図り運用を実施します。

3.事故防止業務中は安全第一とし、運転中の事故、回収作業中の事故、労災事故、情報漏洩の事故の撲滅を図ります。

4.顧客重視お客様の信頼を第一に考え、廃棄物の収集、運搬および処理業務において丁寧な作業と親切な応対を心がけます。

5.クレーム 0 を目指し、全従業員への教育を怠らず、さらなる自覚を促し、技量の向上へつなげます。

6.協力関係にある業者と出来る限り情報を共有し、廃棄物の細やかな分別回収への対応により、リサイクル推進に貢献します。

7.行政機関横浜市資源循環局の廃棄物関連部署との連携を欠かすことなく協力していきます。

8.社員全てにとっての快適な職場環境作りを目指します。

9.環境活動事業活動により生じる環境に対し悪影響のある廃棄物や、二酸化炭素等の温室効果ガスの発生を可能な限り抑制します。

8.情報セキュリティ　業務上取得した顧客および社員の個人情報、企業情報等の機密情報については、保

護と適切な管理に努めます。

環境方針

1．　事業活動に関する法令、基準を遵守し地域社会への保全を努めるとともに地球環境の保全に努める。

2．　事業活動において、廃棄物リサイクル率の向上、二酸化炭素排出量の削減、水使用量の削減等に努めるとともに、グリーン購入を進め、常に業務の改善を行う。

3．　当社の中核事業である感染性医療廃棄物及び有害物質の適切な収集運搬を通してサービスの向上を推進する。

4．　医療廃棄物の焼却灰の再資源化の可能性を探る。

5．　全社員への教育を徹底し当社環境方針の理解、環境保全に対する知識、意識の向上を図る。

具体的な取り組み

産廃プロフェッショナル認定

東京における産業廃棄物処理業者の適正処理・資源化 の取り組みに係わる優良性基準適合認定制度です。
株式会社クリーンネットワークは、東京都から『産廃プロフェッショナル』認定を受けました。

「産廃エキスパート」・「産廃プロフェッショナル」認定制度について（東京都環境局）
http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/resource/industrial_waste/processor/recognition_system/

優良性基準適合認定制度事業（東京都環境整備公社）
http://www.tokyokankyo.jp/activity/certification/

エコアクション２１認証

エコアクション２１は、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みを作り、取り組みを行い、それらを継続的に改善し、その結果を社会に公表するための方法について、環境省が策定したガイドラインです。
株式会社クリーンネットワークでは２００６年に環境への積極的な取り組みにより認証された後、現在も認証更新を受けています。

エコアクション中央事務局
http://www.ea21.jp/index.html

その他の取り組み

クールビズ・節電節水の実施

当社では、クールビズファッション（実施期間：5 月 1 日～10 月 31 日）、冷房 28 度に設定、照明・OA 機器等のスイッチオフ、蛇口をこまめに閉めるなど節電・節水を行っております。

周辺清掃活動

定期的に事業所周辺の清掃活動を行っております。

環境整備活動

従業員自らの手で働きやすい職場を作り上げていくという目的で「５Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔・躾）」という標語を作り、意識の向上を図っていきます。また、定期的に職場をパトロールして５Ｓが保たれているかを常にチェックし常に安全でクリーンな職場を保てるよう努めていきます。

コンプライアンス勉強会

定期的にコンプライアンス勉強会を実施し、社員の法令遵守への知識、理解を深め、事業活動において役立てております。

安全衛生推進委員会

労働災害や環境事故の防止に積極的に取り組むとともに、従業員が働きやすい職場環境づくりをするため、安全衛生推進委員会を設置し毎月 1 回安全衛生会議を行っております。

環境目標

環境目標	前年実績 (基準値)	年度目標	当年実績	中期目標 2015年度以降は前年実績を基準値として目標設定	
	2016年度	2017年度	2017年度	2018年度	2019年度
1. CO_2削減(全社計)	442,221kg-CO2	0.2%削減 441,337kg-CO2	487,666kg-CO2	0.1%削減 487,179kg-CO2	0.1%削減 486,692kg-CO2
① 電力使用量削減	103,055kwh	0.2%削減 102,849kwh	94,186kwh	0.2%削減 93,998kwh	0.2%削減 93,811kwh
② 車燃料（軽油）使用量削減	131,611L	0.2%削減 131,348L	145,941L	0.2%削減 145,650L	0.2%削減 145,359L
③ 車燃料使用量削減医療廃棄物		新規目標 2018年度開始	31,932L	0.1%削減 31,901L	0.1%削減 31,870L
2. 自社排出一般廃棄物排出量削減	659kg	0.3%削減 657kg	733kg	0.3%削減 731kg	2018年度以下
3. 水資源投入量削減（維持管理）	595㎥	維持管理	471㎥	維持管理	維持管理
4. 紙使用量削減	787kg	0.3%削減 785kg	843kg	0.2%削減 842kg	2018年度以下
5. グリーン購入の拡大（ｸﾞﾘｰﾝ化率）	56.2%	50%以上	52.5%	50%以上	50%以上
6. エコキャップ運動推進	6.4kg	6kg以上	40kg	8kg以上	8kg以上
7. 受託した産廃の再資源化率の向上	89.2%	90%以上	88.2%	90%以上	90%以上
8. 再資源化の有価売却率向上	新規目標 2017年度開始	25%以上	15.9%	15%以上	2018年度以上

＊　当社は化学物質を使用していない（取扱事故０件が継続しているため環境目標から削除する）

＊　エコキャップ 500 個（約 2.5ｋｇ）　ポリオワクチン１人分

＊　購入電力の排出係数：0.474kg-CO2/kwh

＊「水資源投入量削減」は、現状以上の削減が困難であると判断し、「維持管理」として実績値の管理に移行する。

前年度環境目標と実績

環境活動計画	取組結果とその評価（2017年5月～2018年4月）				
	環境目標	実績	達成区分	評価及び次年度の取組内容	見直し日
1．二酸化炭素排出量の削減（全社計）	441,337kg-CO2	487,666kg-CO2	×	昨年より自社運搬量が増加し、中間処理量は減少していることから、他社搬入は減少し他社処分の増加による処分先のスペックにあわせた施設の重機使用量が増加した。車燃料の使用量削減にて目標達成を目指したい。	7月10日
①電力使用量削減 ・空調の適温化 ・昼休消灯 ・非稼働設備の電源オフ	102,849kwh	94,186kwh	○	2017年5月戸塚営業所が閉鎖となったことは減少の要因。継続していく。	7月10日
②車燃料（軽油）　使用量削減	131,348L	145,941L	×	昨年より車両台数に変更はないが、医療のスポット売上による運搬量の増加と、重機使用の増加にて環境目標を達成することはできなかった。医療廃棄物のルート改善にて使用量を減少させたい。	7月10日
2．自社搬出一般廃棄物排出量削減	657kg	733kg	×	紙・段ボール・廃プラが増加。 インターネットによる購入が増え、梱包材の増加と思われる。 簡易包装が選択できれば利用していく。	7月10日
3．水資源投入量削減（維持管理）	595㎥	471㎥	―	効率的な使用は徹底する。 変化があったときは水漏れなどの調査をし原因を確認する。	9月28日
4．紙使用量削減	785kg	843kg	×	2017年5月戸塚営業所が閉鎖となり、焼失したため一時的に購入量が増加した。	7月10日
5．グリーン購入の拡大（グリーン化率）	50%以上	52.5%	○	購入時の意識は継続していく	7月10日
6．エコキャップ運動推進ＢＯＸ設置	6kg以上	40kg	○	継続していく。	7月10日
7．感染性医療廃棄物収集運搬管理の推進	クレーム件数		○	情報交換を怠らないようにする。 ※2018年より削除	7月10日
	0件	0件			
8．受託した産廃の再資源化率向上	（リサイクル率）		×	搬入の品目に大きな変化はないが、他社処分が増加傾向であると考えられる。 選別作業を強化していく。	7月10日
	90%以上	88.2%			
9．再資源化の有価売却率向上	25%以上	15.9%	×	2017年度の目標を立てる際、2016年度の実績を試算したが、2017年度の搬入物に有価物が少ないことが要因。 選別作業を強化していく。	7月10日

○：目標達成、×：目標未達

購入電力の排出係数：0.474ｋg-CO2/kWh

前年度における環境関連法規等の違反、訴訟等の有無：０件